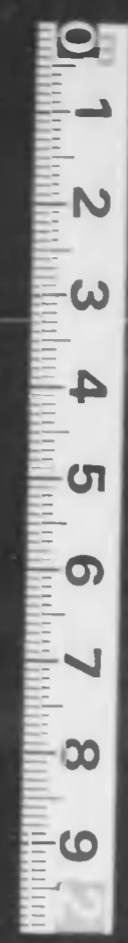




寫眞週報

編輯局報情
ノ七十・號五十八百二第日八十月八

職場は戦場だ



地底の息づまる暑さも何のその
鑛山戦士が掘るは皇國の寶

この寶
この汗もて

艦とし機とし彈とし
憎き敵を微塵と碎け

鶴嘴持つ腕に一億の戦意あり

「時立札」は他へ轉載その他に御利用下さい



鑛山を激する岸商相

重要鑛物非常増産強調期間

莫大な物資の消耗を伴ふ大規模な對米英戦争には、これに對抗する我が物質力や生産力を充實し、一億でも一艦でも多くの兵器を第一線に送り、卓抜なる精神力とともに、敵の反攻企圖を破砕して、その非望を打ち砕かねばならない
ところが、これらの兵器、弾薬、航空機、艦船等を造るものとなるものは、鐵をはじめ銅、鉛、亜鉛等の金屬鑛物なので、これらの金屬鑛物を確保しなくては、軍艦や飛行機、戦車なども出来ないわけだ

そこで今年、全国の各鑛山にこれまでになかった鑛山の生産目標が課せられ、各鑛山とも必死になつて増産を續けてゐるが、特にこの八、九の兩月を重要鑛物非常増産強調期間として、一齊に増産への總進軍を開始してゐる

この期間中の八月三日、洋商工大臣は足尾銅山を訪れ陣頭指揮に當つたが、商相がいられるやうに、ソロモンへ送る飛行機、南海に送る艦船は、みんな鐵だ。銅だ。いま、國家は鑛山の重要鑛物が絶對に必要なのだ

われ／＼は掘つて掘り抜く以外にはない。われ／＼一億は鑛山戦士の後継となり、勝つためには石に噛りついても掘り抜かう

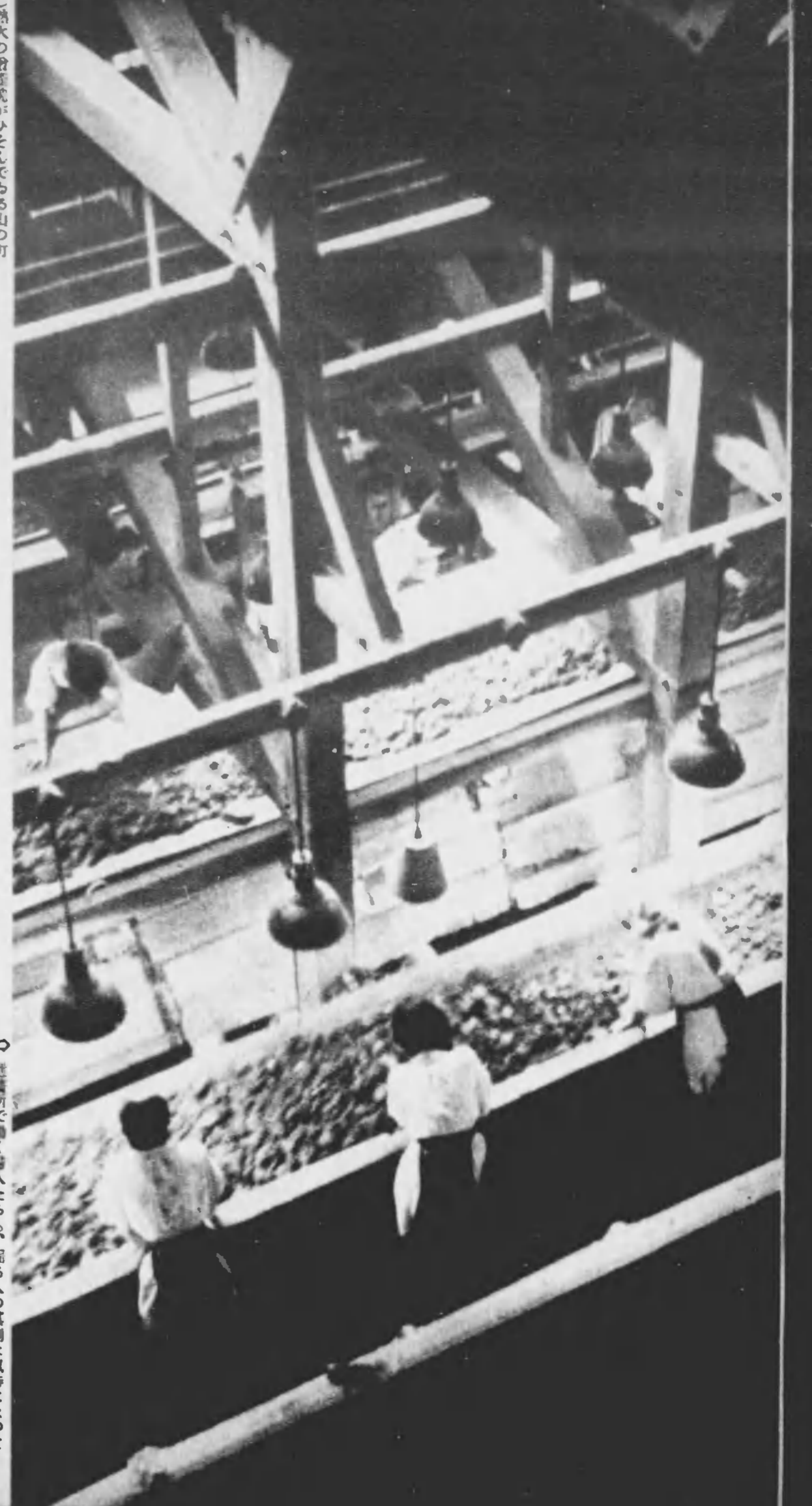
↑ 坑口で交代時を控へ、岸商相は「いまこそわれわれの腕の限り掘る鉄だ」と演説した

□ 切羽の戦士の勇姿を味はよ岸商相



全属山鉦張てそ

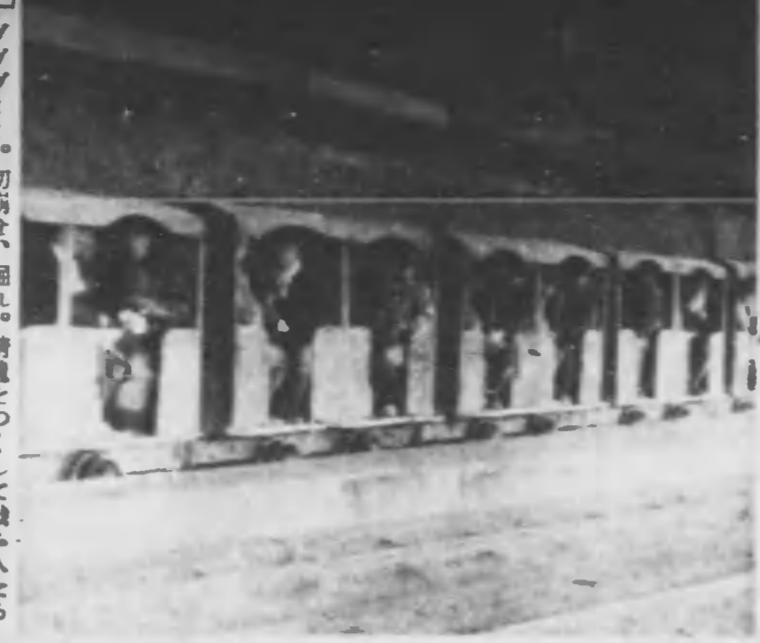
神岡鑛山



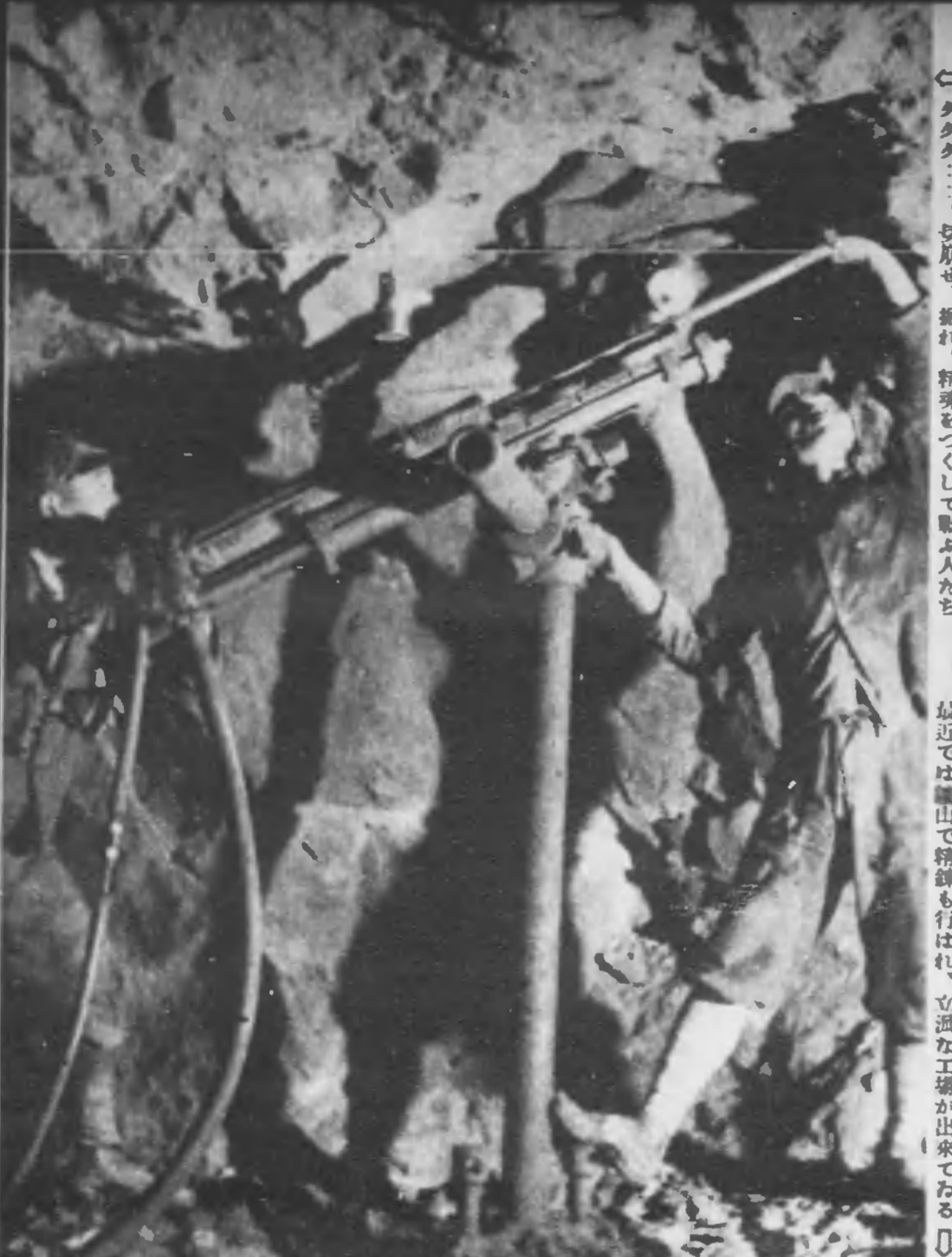
静かな、しかし熱火の増産がひそんである山の町



さあ、今日も元気に掘るぞ...人坑電車で職場へ急ぐ



グググ...切崩せ、掘れ。精魂をつくりて職人たち



最近では鑛山で精錬も行はれ、立派な工場が出来てゐる



大木 山長 氏

岐阜縣神岡鑛山の亞鉛は、全日本生産高の五割四分、鉛は同じく四割を占めてゐる。もつてこの鑛山が重要鑛物の非常増産に果す役割の重きが首肯かれよう

晩の四時、既に全山は今日の作業をめぐして活気を帯びて来る。五時の入坑時間が待遠しいやうに、四時半になると、従業員が續々人坑電車の待合所に結めてくる。やがて五時、發車。鑛山戦士をきつしり載せた電車は一キロ餘の地

底を坑内詰所へ。こゝで整然と國民儀禮、増産綱領の齊唱の後、各自新しい意氣込で職場へ急ぐのである

それから八時間、交代時間が来るまでは全く脳目もふらず、ドリルは唸り、鋸屑は火を吐く。勝ち抜くために「斷乎掘らう」の逞しい氣魄が凄愴なまでに全山をおほうて、非常増産への力強い敢闘が續くのである...

同鑛山の小林事務長は、増産の要訣として、選

選鑛所で働く職人たちも、掘る人の眞剣な氣持になつて... 徹した時局認識、戦ふ日本人としての自覺、更に陣頭指揮をあげ、始業前終業後の國民儀禮、増産綱領の齊唱、それから重要報道の通報板による速報徹底などが非常に役立つてゐる、と語つてゐるが、なるほどこの鑛山では、事務員も給仕も、全員地下足袋に鞆脚絆だ。この全山一體となつた「掘らう」の決意が、昨年度の増産目標一割突破、更に今年度の素晴らしい成績の基礎をなしてゐるといへよう

撮影 橋本満實





戦がなければ戦争は
 出ない。しかし、そ
 の鉄を戦艦とし、兵器
 とするのは、石炭だ。
 長戦下、重要物資の増
 産が戦勝を上げれば上
 げるほど、石炭の増産
 は足が非でもやり遂げ
 なければならぬ。そ
 のために、国民学校高
 等科を出た十六歳以下
 の男子も、二十歳以上
 の女子も、學つて入坑、
 何が何でも石炭を掘
 出すのだと、日本中の
 炭礦が死力を盡して
 る。

運送機の機關室と同
 じ暑さといはれる坑道
 の中で、鑿採機を、ス
 コップを握りしめ、滴
 る汗を拭く暇もなく掘
 り出す男女炭礦戦士が
 まつてこそ、戦争の生
 命線「石炭」にはまぎは
 ない。われらは前線の
 將兵に献げる感謝と聲
 援をこの人々にも送ら
 うではないか。

海水掘り組員之苦勞
 を思はば、この位はせ
 ざらぬ。暑さは何でも
 耐え、採山の採炭は
 必す。採炭は、
 山と結ばれた坑道が、
 一本、一本、掘り進
 んで石炭が採れる。

入山炭礦



炭礦戦士の勞苦で掘り出
 された石炭は、いよいよ、
 重要産業へ晴れの出陣だ。
 入山炭礦

夕暮と鑿採機が唸る。
 同じ音をたてて最前線
 は重機が敵をなぎ倒して
 る。その弾丸を造るの
 に必要な石炭だ。

毎朝四時半現場へ幾分か
 父や兄を學寮が勵まし送
 る。この心づくしがあつ
 て増産が果される。

鑿採炭礦

作業の前に運炭組は斬る
 原軍將兵の武運や、勝利
 や、それから必勝増産へ
 まつしくらだ 好間炭礦

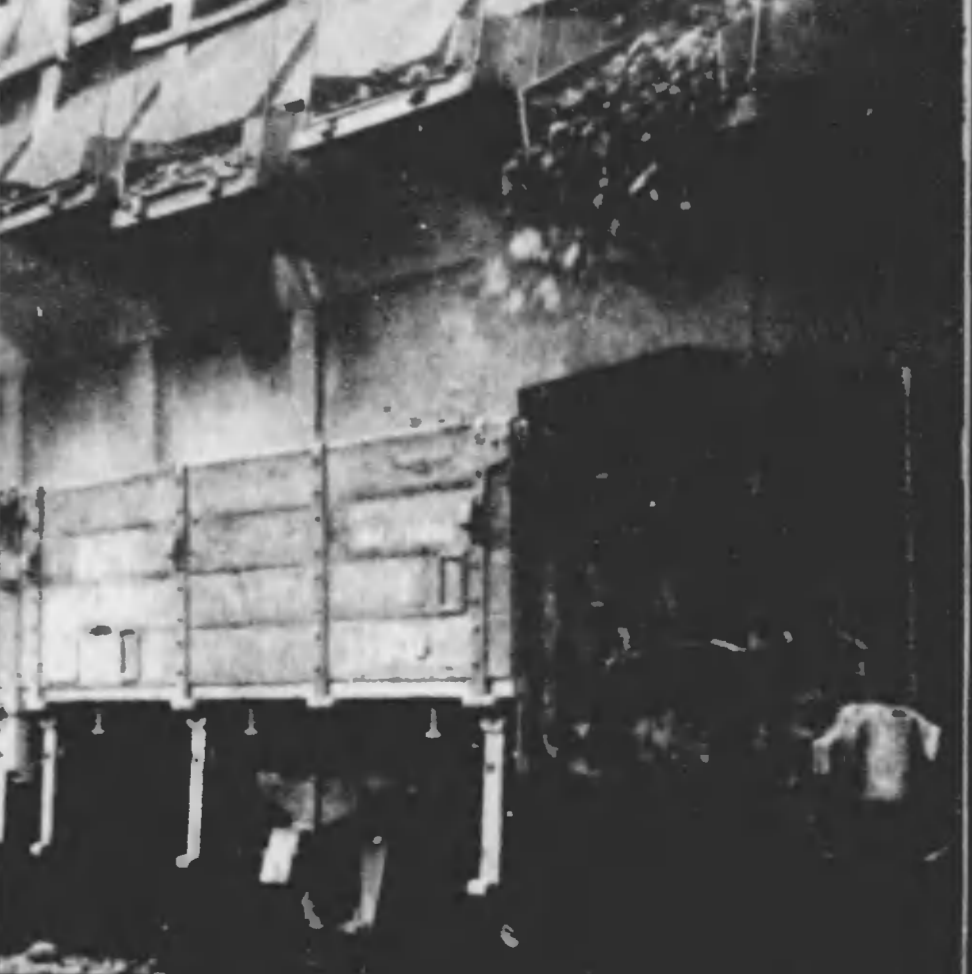
撮影 吉田保十郎

炭石は断乎掘り勝利のぞい

常磐炭礦



女性職を引つ入前の女子童勞は、二十日迄り込めて増産の
 援兵に、一日交代、深夜も休なく送りだす石炭を運送する
 決闘女性を、この高き、好間炭礦



地下二百尺に 闘ふ醫學徒

葡萄嶺山における新潟醫科大學報國隊の勤勞協力



立派な教室が立派な員をつくるのではない。決戦の冥、
休みをかなぐり捨てた學徒は、戦場から戦馬場へ進
軍してゐる。一兵の足貫守の冬よ、法、経済學部が
製菓、製糖、皮革等の製法を習得し、出動すれば、工學部
は造紙所、製鐵所、重機部は丁田へ、農學部は農村へ、理學
部は試験所へと、それ／＼實地で心身を鍛へてゐるが、
新潟醫大報國隊は、縣下の葡萄嶺山へ出陣した



こゝは、決戦に必要な鎧、亞爾を産出する鑛山だけ
に學生の勇氣も凄く、規律正しく、しかも至れりつく
せりゆき、即戦士ばかりか金村民は心から感激し
た。また學生の目にあたりに見る鑛山戦士の、一秒も惜
しんで歸らぬ情にうたれた
教室の學徒では決して教へられないこの生きた教訓に
こそ、學徒勤勞協力の意義がある

撮影 吉田 榮



↑ 物資目録の調査
↓ 物資目録の調査
地下二百尺まで下りて血脈の調査だ。
坑道を教室にして學生は戦ふ。右頁下
前哨戦士の手がはるれば、戦力に
退坑の暇に調査だ
我が國に多いといはれる寄生虫の検査
を、村の學校で毎日行つて、村民一人
一人の健康増進へ
早く手術しないと手遅れになる
器材の不備をおしきつて手術にこへ成
功した
夜は夜で結核退治だ。傳染病の調査
が、豫功までを、親切に思ふことが
多い



道海北 隊徒生農援の千五万一ぶ振鉞

わが国政府の一つとして、従来も内地への主要な食糧供給地であった北海道に、今日、戦時下食糧事情の現状に鑑み国家が望んでゐるものは、現在の努力をもつては一寸違ひ無い数字にまで伸びてゐる。

勿論、全国の農業従事者たちは汗が降り、腕が折れるまでは頑張るぞと、悲壮な決心で肩に立つたのだが、この努力不足を故へ、いま全国の農学校生徒中から選ばれた約一万五千人を中心に、内原訓練所の青少年義勇隊、青少年團等を加へた、農学校青少年部隊を組織して、この秋の収穫期まで各隊順次派遣、六十日の長期にわたり農家と共に食糧増産に懸命の努力を続けてゐる。

詳しくは農学校生徒部隊は、来年度卒業予定の生徒、大體四十名を一組として、先生を隊長に軍隊式な編成により、土地の事情によつては國民学校、農家、共同作業所等に合宿し、或は農家に二、三人づつ分宿して、求められるままに、命ぜられるままに、真剣一點張り、朝から晩まで真面目になつて働きのついでに、真剣一組の生徒部隊を迎へた農家の人々は、そんな若い生徒さん達が辛い毎日を我慢して一緒に働いてくれるだらうか、といふ心配もあつたといふ。だが、そんな心配はいらなかつた。言葉も風習も違ふ農家の人たちのいふことを理解し、その生活の中にひたつきつて、家族同様に関心した。したがつて農家の人たちはまた、わが子、わが弟のやうな親愛の情にかられ、六十日の期間を終へて歸郷する生徒達を送るときには、泣いて別離を惜しむといふ。

こゝに一例として、十勝農業学校部隊に連日、たげ農学校生徒部隊、廣島縣立上下野原校生徒の勤勞生活を紹介しよう。



⇒ 師匠をあげて走る愉快さ、馬にこたへられずに、後を追ふ。

⇒ 教室は青天井だ。大事に練習するがせにはできないと、優秀の合宿、涼しい木陰に集まって講習がはじまる。農課と實習の習行合一、この教育は唯一。

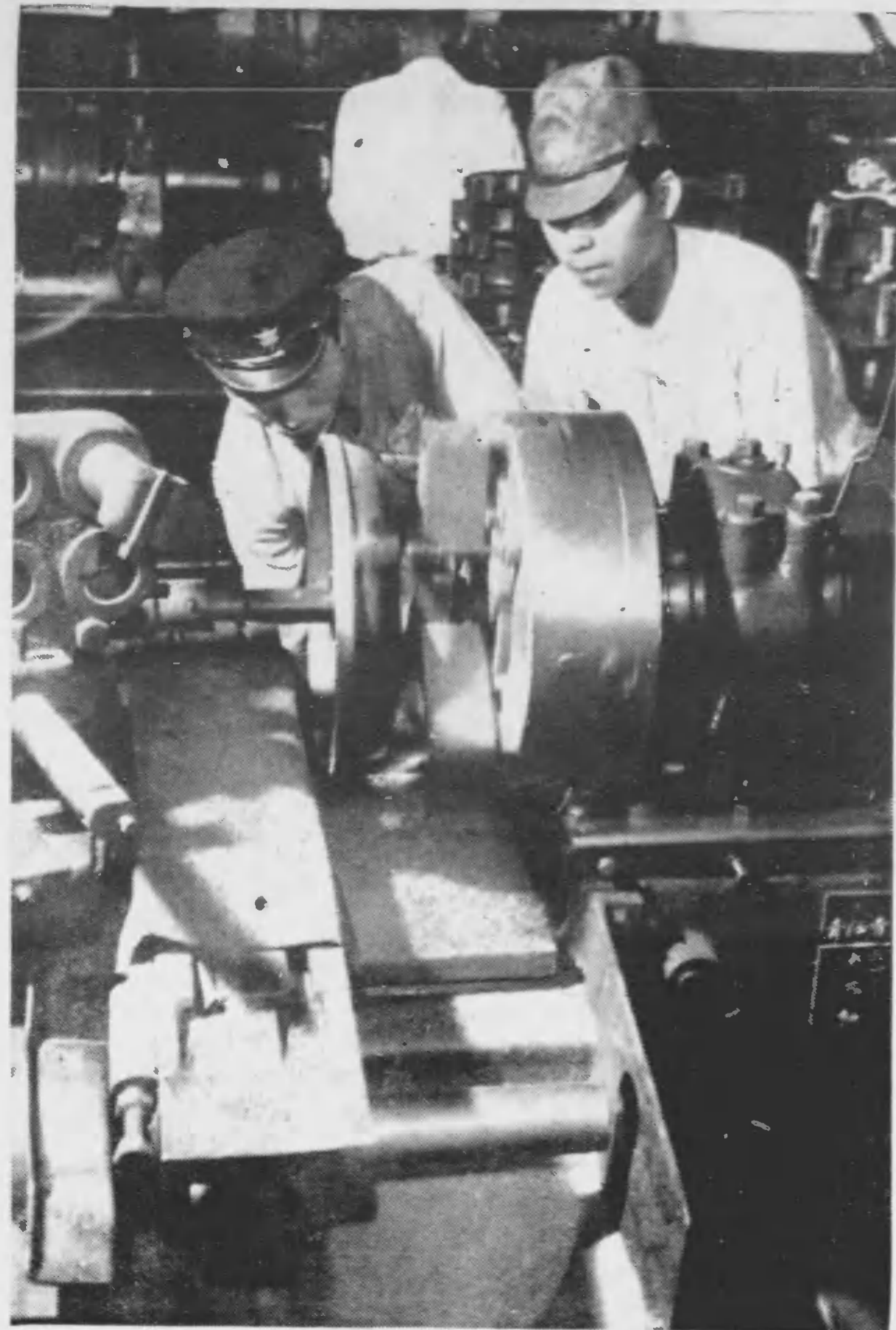
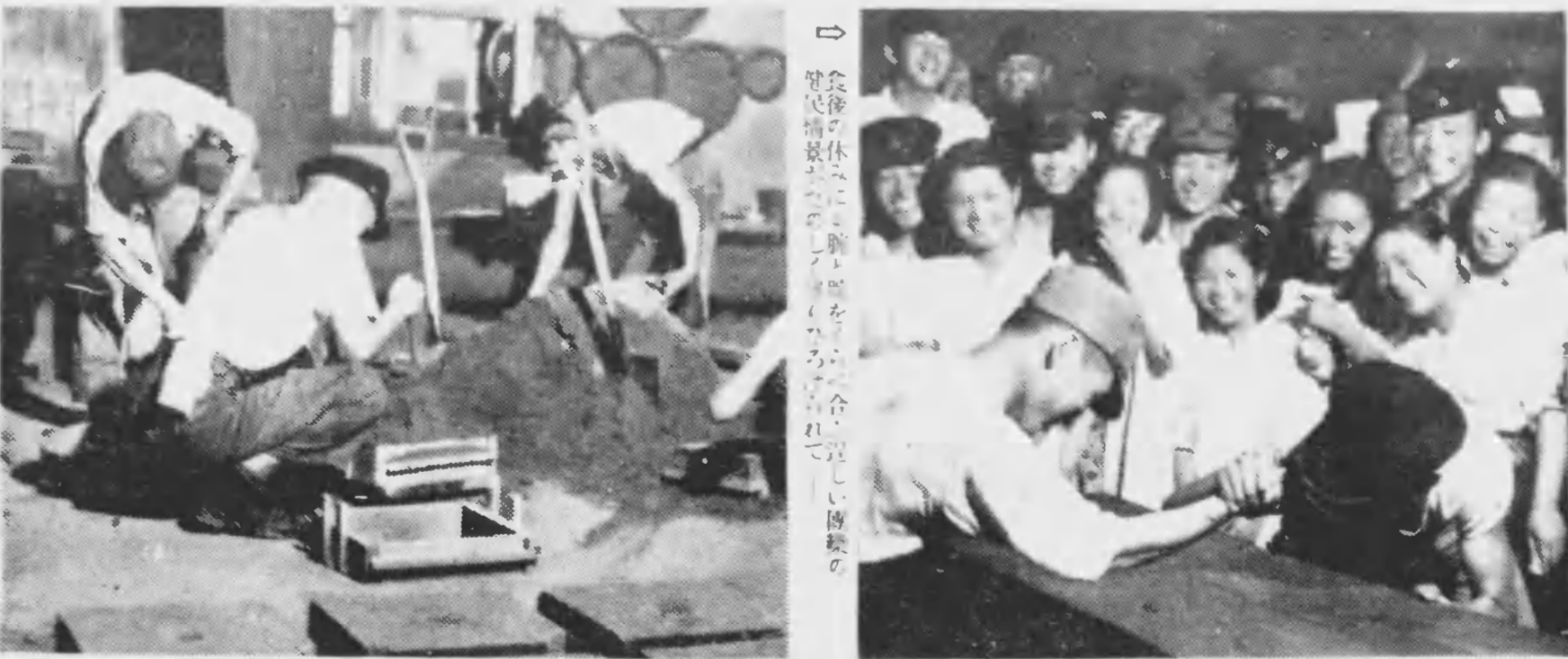


⇒ 一家族十五町歩、二十町歩の畑を耕すのが北海道の農家だ。生徒たちは家族と一體になつて働く。働いてくすきつた少年達の胃袋に、晩飯ほど楽しいものはない。一緒に働いた農家の人達と家族のやうに和やかに、ほのぼのしい石油ランプの光までが嬉しい。楽しさを播きかしてくれ。



旋盤と取組む生徒

大阪府—西野田工業學校



汗にまみれた生徒の姿も本國の

入江泰吉

夏に鍛へよ、と暑熱を蹴つとばして全
國の學生は、勤勞即健民の錬成實施によ
つて體力増強の増産運動を展開してゐる
大阪公立西野田工業學校五年生四十名
の部隊は、土用中の四週間を、三伏の猛暑
ものかは、府下松下電氣工場に出動、

汗にまみれた生徒の姿も本國の
入江泰吉



大東亞戦争日誌

七月

- 六日 ● 昨年七月以降一ヶ年間に
における支那方面我が軍の綜合戰果
次ぎの如し
(一) 敵に與へたる損害 遺棄死傷約
四十五万七千八百、俘虜約十四万
九千、降虜約九万六千、飛行機二
百七十機、主なる強襲品、各種火
砲一千百一十一門、同彈藥約八万六
千九百發、重機銃約四千四百五
十挺、同彈藥約百四十七万四千
發、小銃約十五万八千五百挺、同
彈藥約一千六百六十五万四千發、船
隻約一万六千ト
- (二) 我が方の損害 戦死八千二百八
十一名、飛行機四十四機
- 八日 ● 海南島所在帝國海軍部
隊は本年二月二十一日以來同島西北
部山嶽地帯に蟻踞露中の敵本據を
攻撃し、六月下旬までに左の戰果を
收めたり。遺棄死傷九千五百、投降
者三千六百人、兩獲品、小銃三千二
百挺、彈藥十五万二千包、機銃拳銃
類二百九十挺、手榴彈一千八百六十
六箇、地雷三十箇、ジャンク船隻抽
九十隻
- 十四日 ● (一) ニューギニーチア
島の我が守備隊は七月十四日ルピア
ナ島よりムンダ東側地區に大舉上陸
を企圖せる米軍を水際にて撃退し、そ
の母艦十隻以上を撃沈し、殘餘を
盡く敗走せしめたり。(二) さきにム
ンダ東方地區に進出ありし米軍の
一部また右に呼應し出撃し來れる
も、我が守備隊は直ちにこれを撃退
せり
- 十五日 ● ソロモン群島方面帝國
海軍航空部隊は七月十五日ルピアナ
- 島の敵陣地を攻撃し甚大なる損害を
負ふと共に、反撃し來れる敵約五
十機と交戦しその十九機を撃墜せ
り。我が方未歸還十機
- 十六日 ● ソロモン群島方面帝國
海軍航空部隊は七月十六日ルピア
ナ島(サンタクルーズ諸島)及びツラ
ギ、ガダルカナルを攻撃し、在泊敵
艦船に對し損害を與へたり
- 十七日 ● (一) 我がニューギニー
チア島守備隊の一部は敵第一機の後
方に迂回し、七月十七日夜アイ川東
方の米軍上陸地點並びに自動車部隊
を襲撃し、上陸施設及び該地の敵兵
力に大なる損害を與ふと共に自動
車部隊を破壊し、引續き戰果擴張中
なり。(二) ニューギニーチア島ムン
ダ附近の我が守備隊は機車を伴ふ敵
の出撃を數次わたり撃退すると共に
、七月十七日上陸を企圖せる敵魚
雷艇群を砲撃し之を潰走せしめたり
- ソロモン群島方面帝國海軍航空部
隊は七月十七日ブーゲンビル島アイ
ンに攻撃せる敵百六十七機と交戦
し、その五十八機を撃墜せり。我が
方損害九機
- 二十日 ● 帝國潜水艦は七月二十
日サンクリストバル島南方海域にお
いてサンフランシスコ型巡洋艦一隻
及び驅逐艦三隻より成る敵部隊と遭
遇、驅逐艦の警戒網を突破、右巡洋
艦に肉薄攻撃し、これを撃沈せり
- 二十一日 ● ソロモン群島方面の敵
に對し反復攻撃中の帝國海軍航空部
隊は七月二十一日午後レンドバ港所
在敵艦船を強襲し、次ぎの戰果を收
めたり

- 中型輸送船 一隻 轟沈
- 大型輸送船 二隻 撃破

練訓洋海の生学女とき曹兵

京都市立第一高等女学校



秋事も富帯で...今日は朝の静かな地と一品



波を蹴り、沫を上げて國民は皆泳がう

京都市立第一高等女校の上級生たちは、瀬田海岸で海洋訓練を行ひ、心身を鍛へるとともに、海への認識を深め、併せて、其戦下、我が海軍將兵の勞苦を憐れんだ。

例年の夏期水練なり、泳げくと水泳の訓練のみに重きを置かれてきたきらびもあつたが、同校今夏の海洋訓練は、戦時下に相應しく海軍の現役下士官を講師に招き、手傳信號から結末の仕方及び海軍式游泳法などを學び、未來を擔ふ海國の母としての海洋知識を廣げた。

撮影 有吉 健治郎



秋事も富帯で...今日は朝の静かな地と一品



秋事も富帯で...今日は朝の静かな地と一品

大和陸隊 一也 擊沈
上陸用艇 十隻以上擊沈
我が方未歸艦 一航

二十二日 ●ソロン群島方面に補給増援中の帝國海軍特務艦、驅逐艦數隻並に同長護隊は七月二十二日同方面に於いて敵約九十機と交戦、その九機を撃墜したるを、我が方特務艦一隻沈没せり

二十五日 ●我が支那方面航空部隊は七月二十三、二十四、二十五の三日間に於て連綿在支那空軍の前進基地たる重慶、雲陽、瀘州、宜昌、建陽各飛行場を攻撃し、滑走路及び附屬施設を破壊、これに大なる損害を與へたるは、重慶、雲陽及び桂林附近において敵機二十八機を撃墜せり。我が方の損害は八機なり



米英の女どもに刀貝けません

さき、電報だ。どんな大層な用事かしら。早速お返しなくては。 — 東京都 — 日本橋高等女学校

さきに勞務調整令によつて男子の職場が限定され、これに代つて女子の職場進出が要望されておりましたが、

今度はまだ女子勤勞報國隊にも相當長期の勤勞が行はれることになりました。機手ながら御奉公しようといふ女子の決意と勤勞を、戦力増強の一翼として十分活かしてゆくことになつたのです。今度の戦争は總力戦、米英の女どもを相手とつて、大和魂子の眞價發揮はこの秋です。



旅籠と取組んであるお友達がお友達の姿を見かけるやうになつた。ほんたうに、うっかりしてはゐられない。あとは實踐への思ひ切つた踏切りだけです。

東京都日本橋高女の五年生十五名が、楽しい夏休みを返上して日本橋郵便局に、男でも氣苦勞な集配員の役をかつて出ました。今、勝ち抜く勤勞への飛躍臺に立つてゐる多くの女性に、この健氣な姿をお送りします。

配達先が自分の區だから、仕事にも張りがある。區分のできたのを靴につめて、配達にも、こつがある。區分と一緒に局長があれこれと親切に指導。

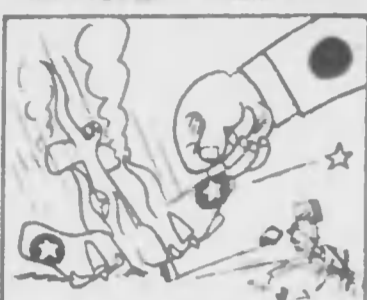
同區内のお友達が十五人。曇さも何のその、男子に負けない歌謡ぶりを見て下さい。報國隊の陣章を見て「苦勞さま」その一言に働く喜びがしみくと。



訪日國漫争戰亞東大
介雄 川石



潜水艇の沈没を甲斐駒を御座の敵



潜水艇の軍を米支在



苦布戦官に英米國マルビ



陣役ら長師陣で戦作行太殿八十

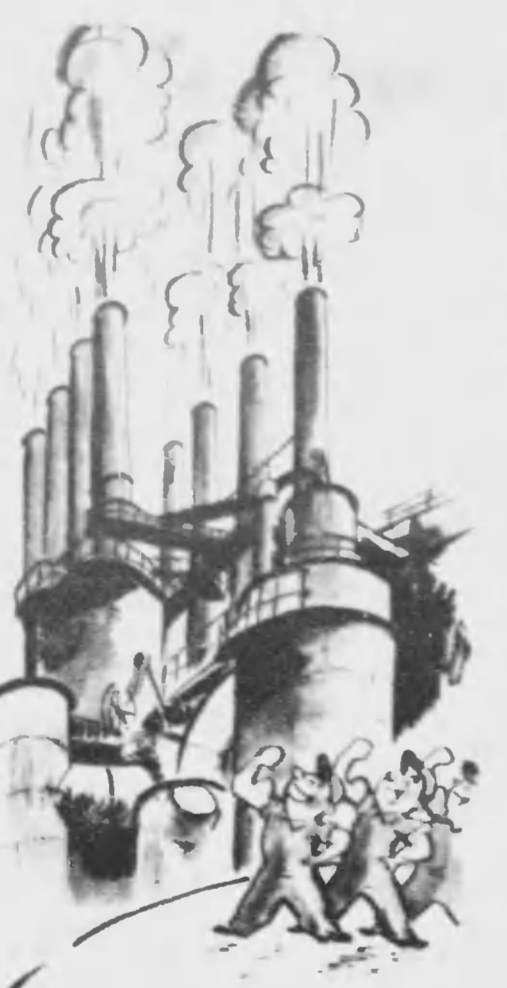


成完行飛同一上本國生學



照準器
地産の決戦場
杉 柗夫
切符の一突きが、やがては米兵の本陣を破く信響となる

うた勝り掘



八連装の高射砲？
杉 柗夫
俺の力弱が頼れば、それだけ敵機はあがるんだ。けふの敵機は十五機だ。『おい、俺は助金入りだ。』



鐵は生きてゐる
小泉 葉郎
おい見のよ！ 敵から抜け出した鐵が重がいたこの地獄さ。さうだ。われは鐵を死守するんだ。そして國を護るんだ。

選練師の暇み
南 義郎
この轟石一つ、が米兵を倒す鉄砲だ。つまらぬ石ころは仕事に邪魔立てする米兵が、米兵をばりき出す鉄は、



とれた 笹の實
一万五 千貫
撮影 橋本清賢
熊本 縣 岐 郡



採つた實は山麓で空俵に詰め高山市へ送られる
「笹の實」の食用は古く天保年間全国を襲つた大飢饉に、野生植物の食用化が飛騨、信州地方で盛んに行はれたとき、柄、椎、わらび、ぜんまい等と共に食用に供したといはれてゐる
戦時下、代用食が主食と並んで奨励されてゐるとき、この「笹の實」採取がこのほど飛騨山麓、安房峠を中心とした日本アルプス一万余歩に亘つて斐太中學校、同實業學校、平湯國民學校及び勤勞報國隊員等五百名によつて、收穫二万貫を目標に行はれた
つる草に纏まされ、いはらに皮膚を傷つけ、大なす能笹をかきつけた汗の戦果は實に五五千餘貫に及んだ
一方、これら採取男子部隊の勞苦に應へて高山高等女學校、同實踐女學校、同國民學校等の女子部隊はこの戦果を引受け、眞夏の校庭を笹の實で埋め置いた
やがて、この笹の實が小麥粉の代用として製麵に、製菓に、これら協力隊、報國隊員の努力に報いる日、近い



★表紙
西南太平洋の航空決戦は逐日熾烈化してくる。百機、二百機と彼の戦艦連合の編隊戦に、或は補給基地の爆撃に、全く思つて聞かない。この間にあつて、見敵必勝のわが陸海軍の奮闘は、水も浅らさぬ緊密な協同のもとに、敵の出鼻を叩いてゐる
けふもまた陸軍は、海軍とともに西南太平洋に敵艦隊に向ふ

賣出 八月二十日より 九月六日まで 大藏省	國	ま	勝
	債	だ	つ
	へ	あ	た
	!	る	め
	債	無	に
	券	駄	
	へ	を	國債の購入は 貯蓄金 利用せよ

<p>本誌を回覧に 本誌を、函箱や郵局で回覧する等、出るだけ有効に御利用下さい。</p> <p>前線慰問にも またお読みになった本誌を前線慰問に送りませう。送料は内地と同様で、封紙のひびは開封にして第一等と明記すれば、郵送可也。</p>	<p>一部十銭 送料別 外郵便送は送料別 見よは送料別 送料別十九銭</p> <p>▲特入費の場合は且の郵便御拂込金より差額を中受けます。</p>	<p>昭和十八年八月十八日 印刷発行 情報局 東京 印刷局 水田印刷局 印刷局</p> <p>内閣印刷局 印刷局 印刷局</p>
--	--	--

内閣印刷局印刷発行